

## 地域再生計画「安全安心で魅力のあるまち 岡谷」

### 事後評価委員会意見聴取結果報告書

- ・ 湊 118 号線の実施していない区間はなぜか。  
(A) 計画前に、舗装工事を実施しており、損傷もないことから計画から除外していた。
- ・ 搬出間伐について中間評価では 92ha、最終値 68ha となっているが、その期間までの平均値ということか。  
(A) 年度毎の実施面積を示している。
- ・ 平成 31 年度の見込みの 150ha は可能なのか。  
(A) 平成 30 年度の遅れている箇所も集計するため、150ha は実施できると考えている。  
また、来年度以降は補助制度を有効活用し、130ha は可能であると考えている。
- ・ 林道高尾山線を整備したことによるエリアの搬出間伐面積の増加率を示したほうが良い。
- ・ 114 号線、115 号線の計画は平成 28 年度、平成 29 年度となっていたが実施しなかったということか。  
(A) 地域再生計画策定後、100mm/h 安心プラン整備計画が策定され、同路線で雨水渠整備が決定したことにより、雨水渠整備と同時に工事を実施することとした。
- ・ 市役所横の 114 号線道路整備は今回の事業ではないのか。  
(A) 地方創生道整備推進交付金を利用した事業ではない。
- ・ 都市計画道路との関連は。  
(A) 土木事業の改良工事として実施するため、都市計画道路としての整備は考えていない。
- ・ 事後評価調書における「その他事業」の位置づけは。  
(A) 今回の「安全安心で魅力のあるまちづくり」を達成するため、総合的かつ一体的に行った事業を示している。
- ・ 岡谷市が抱える都市構造の問題解決のため、実施してきた事業であるので、新病院建設事業、新消防庁舎建設事業では、県道や市道の周辺環境整備や下水道で行った雨水渠整備、県で実施している塚間川の河川改修工事等も事後評価調書の「計画外で独自に実施した事業」に掲載してはどうか。
- ・ 1 期目の地域再生計画「安全で安心なたくましいまち 岡谷」があって、今回の 2 期目の「安全安心で魅力のあるまち 岡谷」があるという評価を考えたらどうか。継続して 3 期目はないが、次の課題に向かって考えてもらいたい。
- ・ 「まちづくり活性化事業」の「ブランドブック」に沿った取り組みについて、ブランディング事業が停滞しているのではとの指摘もあることから是非取り組んでほしい。
- ・ 今回の事業計画の実行に当たり、関係区、沿線関係者の協力により実施できたことについて、感謝していることを取り上げてほしい。
- ・ これまでやってきたものを土台として継承して行ってほしい。
- ・ 市民に対し協力していただいたことに感謝する気持ちを忘れないでほしい。